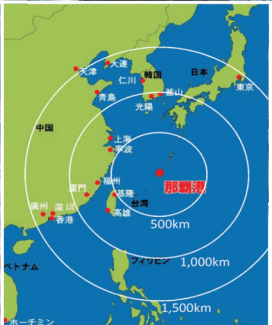
代表電話番号:098-868-2578
URL:https://nahaport.jp/

Naha Port Authority

2024年/2025年

那覇港要覧 NAHA PORT



1 那覇港管理組合

《設立目的》

那覇港管理組合は、那覇港の開発発展と利用の促進を図るとともに、適正で能率的な管理運営を行うことを目的として平成14年４月１日に沖縄県、那覇市及び浦添市の三自治体で設立した特別地方公共団体です。

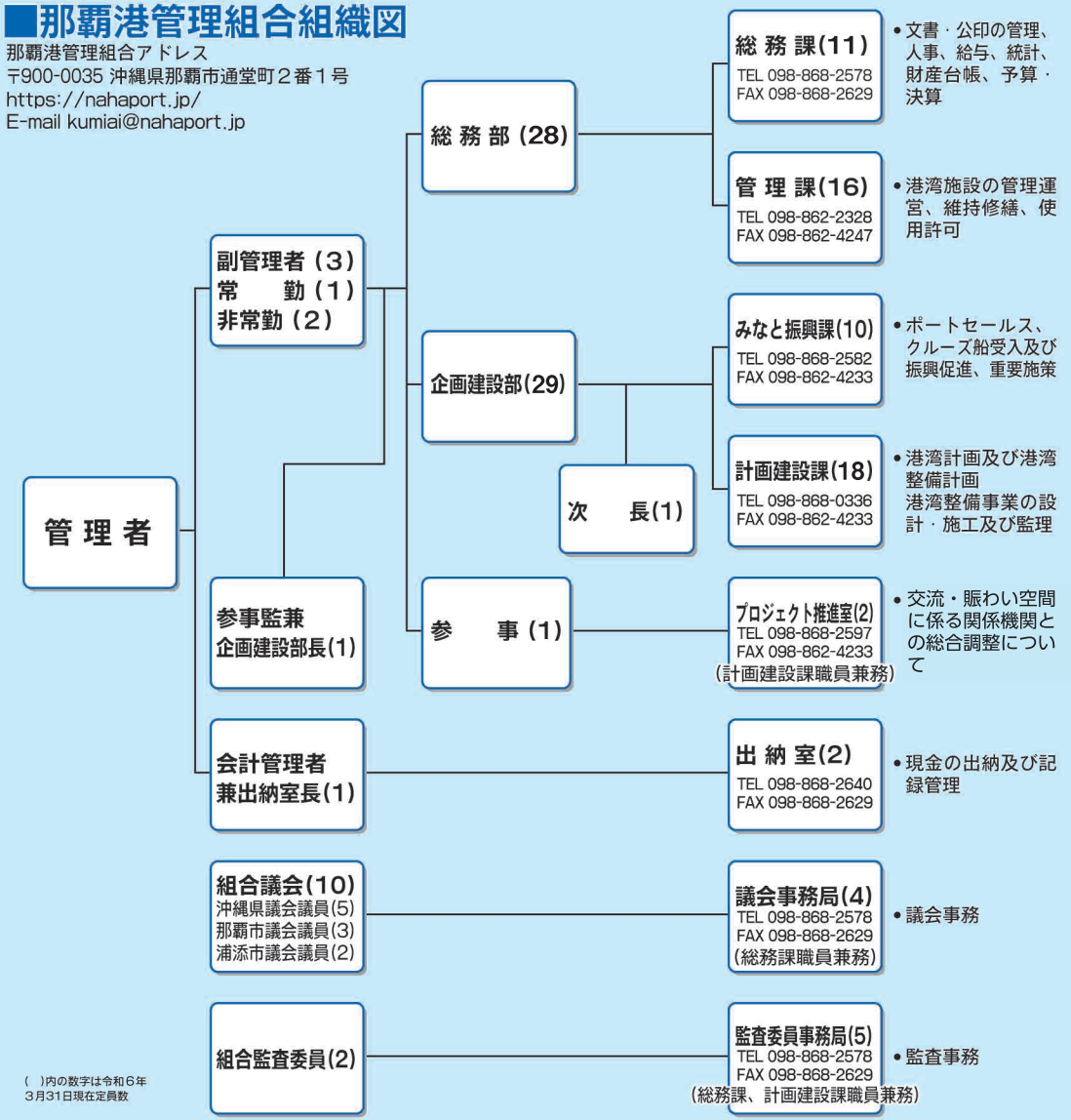
《整備方針》

那覇港管理組合では、次の５つの整備方針を掲げ、整備計画を推進しています。

①新たな産業拠点としての国際物流関連産業の展開
②国際ロジスティックスセンター等としての新たな産業空間の創出
③南の国際交流拠点を目指した国際クルージング基地と海洋リゾート地区の形成
④世界に誇れる豊かな自然環境の保全と新たな環境の創出
⑤沖縄の生活・物流拠点としての那覇港４ふ頭地区の港湾機能の適正配置

■那覇港管理組合組織図

那覇港管理組合アドレス
〒900-0035 沖縄県那覇市通堂町２番１号
https://nahaport.jp/
E-mail kumiai@nahaport.jp



（　）内の数字は令和６年３月31日現在定員数

2 那覇港の歴史

《那覇港の概要》

那覇港は、沖縄本島南部、那覇市と浦添市にまたがって位置し、沖縄県の物流、人流の中心的な拠点港湾として沖縄県の経済社会活動を支えており、外国、本土と沖縄、宮古、八重山や周辺離島と連絡する沖縄で最も重要な港湾となっています。

古くは15世紀頃から琉球王府の貿易の拠点として栄え、今日まで沖縄の海の玄関として発展してきた港であり、一部の石油製品などを除き、沖縄で生産・消費されるほとんどの物資が取り扱われています。

▲ 1422年頃の那覇港の絵図（沖縄県立博物館所蔵）

1264年	浦添城を居城とした中山王が泊港（現在の泊ふ頭）を国港として整備。
1422年	沖縄本島の統一を果たした尚巴志王が、那覇港（現在の那覇ふ頭）を中国進貢貿易などの拠点とした。
1972年	本土復帰直前、那覇港・泊港・新港を一体的に管理運営するため、３港を一元化し、那覇市の管理となり、現在の那覇港となる。
1984年	新港ふ頭地区の岸壁（−7.5mから−11m）が完成する。
1997年	コンテナ専用岸壁（−13m）１バースを供用開始（９号岸壁）。
1998年	ガントリークレーン１号機供用開始。
2002年 2003年	那覇港管理組合設立。 那覇港港湾計画（改訂）が承認され、トランシップ港及び海域環境保全ゾーンが位置づけられる。
2004年	ガントリークレーン２号機供用開始。
2005年	「那覇港公共国際コンテナターミナル」の運営事業に関して、那覇国際コンテナターミナル株式会社（NICTI）と賃貸契約締結。
2006年	１月、那覇港公共国際コンテナターミナル供用開始。（10 号岸壁）
2009年	９月、旅客専用バース供用開始。
2011年	８月、「那覇うみそらトンネル」供用開始。

3 自然条件

《気象、潮流、海底地質》

気候は暖かい黒潮の影響を受け、亜熱帯性海洋気候に属しています。その特徴として、一年を通じて、気温の変化は少なく、年平均気温23℃、真冬でも10℃前後と一年中温暖な気候で、降雨量は全国に比べて多く、年間降水量平均は2,196mmとなっています。冬から春にかけて北ないし北北東の季節風（11月～３月）が、夏は南東の季節風が卓越します。また台風が夏から秋にかけて沖縄付近を通過しますが、そのうち、那覇港周辺に接近するのは２～３個程度です。潮流は、上げ潮時には北東流、下げ潮時には、南西流が卓越します。流速は沖合部が大きく30～50ｃｍ/ｓ、沿岸部で10～20ｃｍ/ｓ程度です。海底地質は、上位から10m～15mの沖積層（海浜砂礫）、10m前後の洪積層（琉球石灰岩）、及び第三紀層（島尻層）から成り立っています。

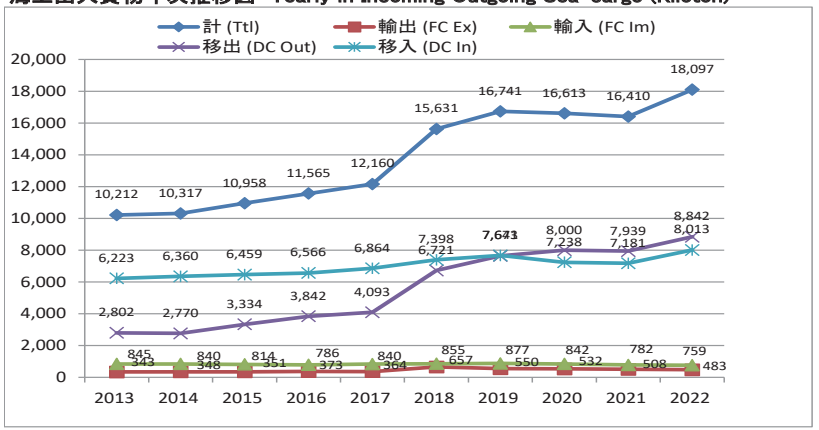
2012年	７月、ボイジャーオブザシーズ初寄港。
2013年	４月、「波の上うみそら公園」供用開始。
2014年	４月、那覇クルーズターミナル供用開始。
2014年	７月、ガントリークレーン３号機供用開始。
2015年	４月、台湾港務株式会社（TIPC）とのパートナーシップ港に関する覚書（MOU）の締結。
2015年	５月、ガントリークレーン４号機供用開始。
2015年	７月、大型クルーズ船３隻同時寄港。
2015年	８月、アジア最大級クァンタム・オブ・ザ・シーズ那覇港初寄港。
2015年	12月、NICTIとコンテナターミナル賃貸借契約を更新。 中核企業は三井倉庫株式会社に変更。
2016年	１月、新体制となったNICTIによるコンテナターミナルの運営開始。
2018年	３月、「臨港道路浦添線」供用開始。
2019年	５月、那覇港総合物流センター開業。
2022年	４月、那覇港長期構想の策定。
2023年	２月、第２クルーズバース暫定供用。
2023年	３月、那覇港港湾計画の改訂。

4 港　勢

2022 年に那覇港に入港した船舶数は、7,857 隻（25,584,088 総トン）となっています。船舶乗降人員は 471,186 人で、内外航別にみると 100.0%が内航客であり、そのうち県内航路が 91.9%を占めています。

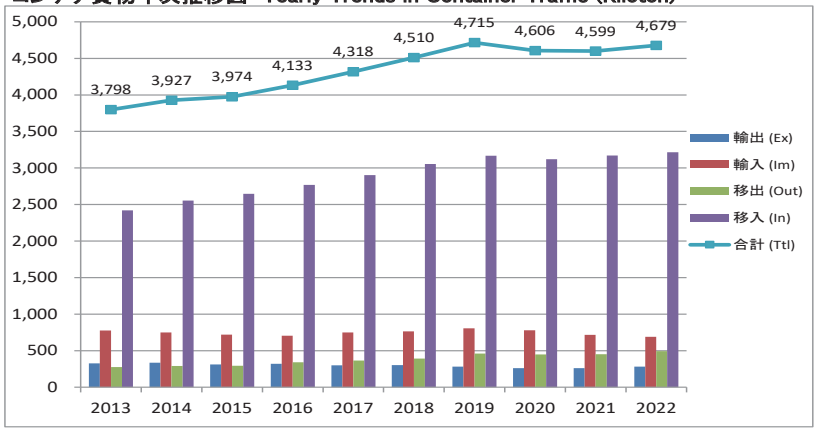
また、港湾取扱貨物量は 1,809 万トンで、これを内外貿易別にみると 93.1%が内貿、出入別にみると輸移出が 51.5%を占めています。全体の取扱貨物量のうち、コンテナ貨物は約 25.9%を占めています。

海上出入貨物年次推移図　Yearly in Incoming Outgoing Sea-cargo (Kiloton)



※　FC：Foreign Cargo，DC：Domestic Cargo

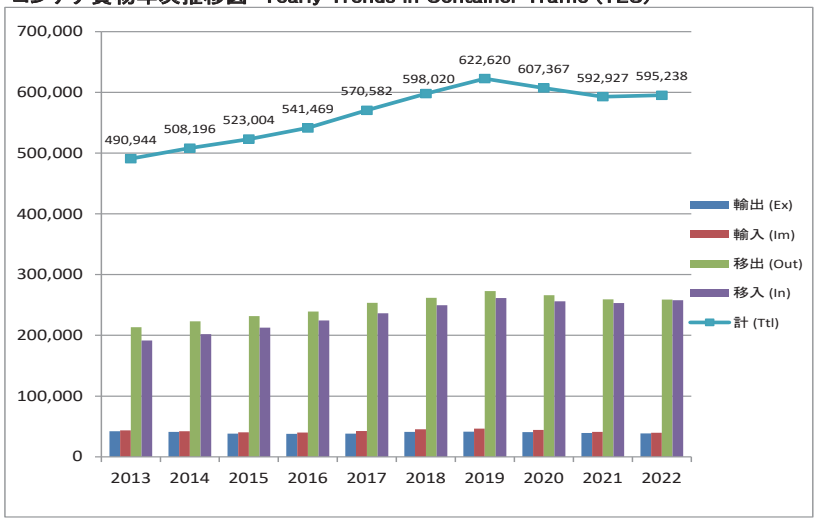
コンテナ貨物年次推移図　Yearly Trends in Container Traffic (Kiloton)



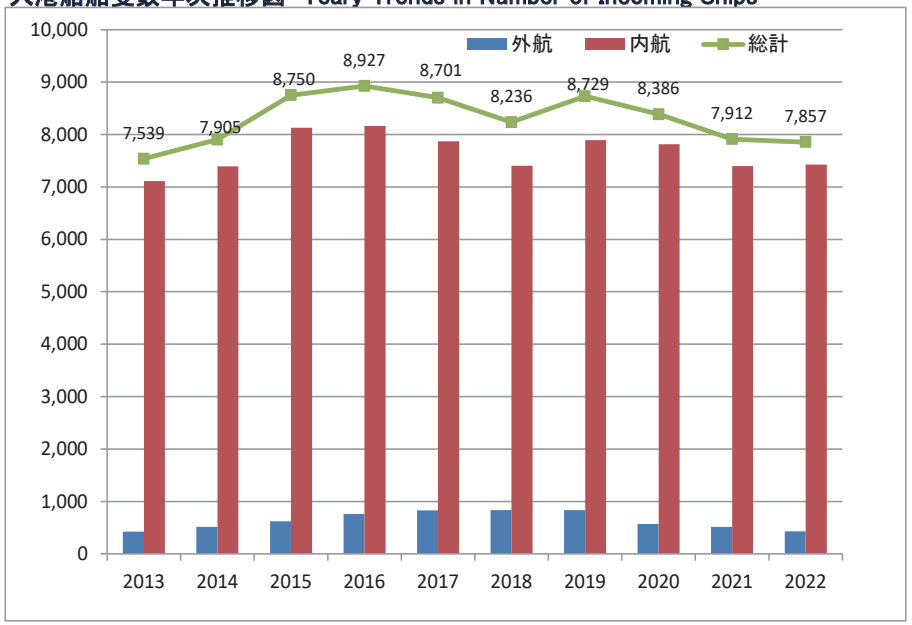
コンテナ貨物年次推移表　Yearly Trends Table in Container Traffic (TEU)

		輸出 (Ex)	輸入 (Im)	移出 (Out)	移入 (In)	計 (Ttl)	総計
2013	実 (Loaded)	18,115	43,610	18,598	146,043	226,366	490,944
	空 (Empty)	24,097	148	194,876	45,458	264,578	
2014	実 (Loaded)	18,717	41,916	19,570	154,401	234,604	508,196
	空 (Empty)	22,252	112	203,633	47,596	273,592	
2015	実 (Loaded)	17,484	40,191	21,207	160,148	239,029	523,004
	空 (Empty)	20,884	46	210,484	52,561	283,975	
2016	実 (Loaded)	18,039	39,218	23,690	167,239	248,185	541,469
	空 (Empty)	19,730	760	215,531	57,263	293,284	
2017	実 (Loaded)	16,568	41,635	25,958	175,192	259,353	570,582
	空 (Empty)	21,649	786	227,579	61,215	311,229	
2018	実 (Loaded)	17,037	42,928	28,142	185,570	273,676	598,020
	空 (Empty)	23,917	2,613	233,621	64,194	324,344	
2019	実 (Loaded)	15,764	44,685	32,014	191,802	284,263	622,620
	空 (Empty)	25,763	1,915	240,979	69,700	338,357	
2020	実 (Loaded)	14,596	43,028	31,723	188,557	277,904	607,368
	空 (Empty)	26,121	1,429	234,263	67,652	329,465	
2021	実 (Loaded)	14,599	39,354	32,095	191,364	277,412	592,927
	空 (Empty)	24,622	1,726	227,266	61,901	315,515	
2022	実 (Loaded)	15,633	37,711	34,789	193,831	281,963	595,238
	空 (Empty)	23,070	2,037	224,158	64,011	313,275	

コンテナ貨物年次推移図　Yearly Trends in Container Traffic (TEU)



入港船舶隻数年次推移図　Yeary Trends in Number of Incoming Ships



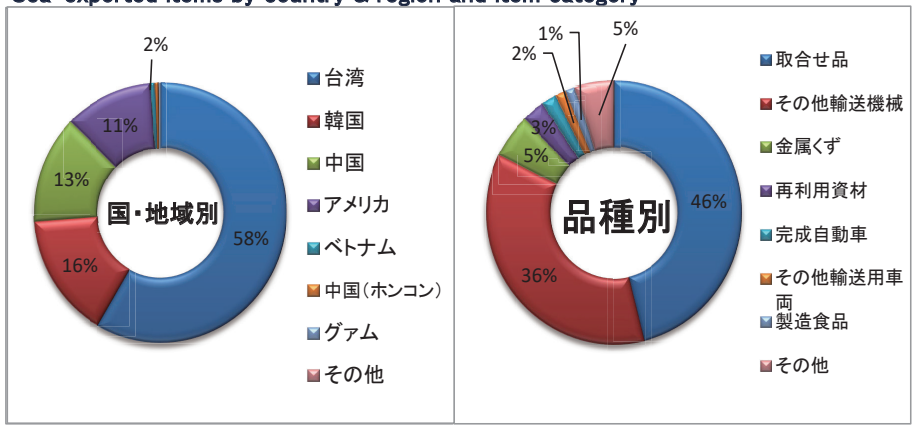
（輸出）　Export　（2022年）

国・地域名	トン数	百分比	品　種	トン数	百分比
台湾	281,355	58.28%	取合せ品	222,876	46.17%
韓国	75,459	15.63%	その他輸送機械	174,154	36.08%
中国	65,119	13.49%	金属くず	26,107	5.41%
アメリカ	54,698	11.33%	再利用資材	14,035	2.91%
ベトナム	2,850	0.59%	完成自動車	8,864	1.84%
中国（ホンコン）	2,415	0.50%	その他輸送用車両	6,999	1.45%
グァム	859	0.18%	製造食品	5,852	1.21%
その他			その他	23,868	4.94%
	482,755	100%		482,755	100%

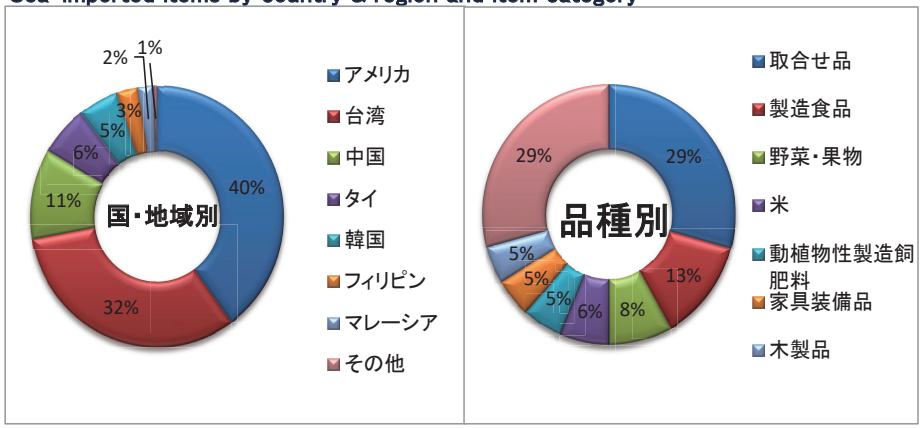
（輸入）　Import　（2022年）

国・地域名	トン数	百分比	品　種	トン数	百分比
アメリカ	304,126	40.04%	取合せ品	221,624	29.18%
台湾	244,690	32.22%	製造食品	96,098	12.65%
中国	84,288	11.10%	野菜・果物	62,002	8.16%
タイ	47,684	6.28%	米	47,684	6.28%
韓国	39,736	5.23%	動植物性製造飼肥料	38,932	5.13%
フィリピン	20,299	2.67%	家具装備品	36,639	4.82%
マレーシア	15,842	2.09%	木製品	35,866	4.72%
その他	2,840	0.37%	その他	220,660	29.05%
	759,505	100%		759,505	100%

海上輸出貨物国・地域別、品種別構成　（2022年）
Sea-exported items by country & region and item category



海上輸入貨物国・地域別、品種別構成　（2022年）
Sea-imported items by country & region and item category

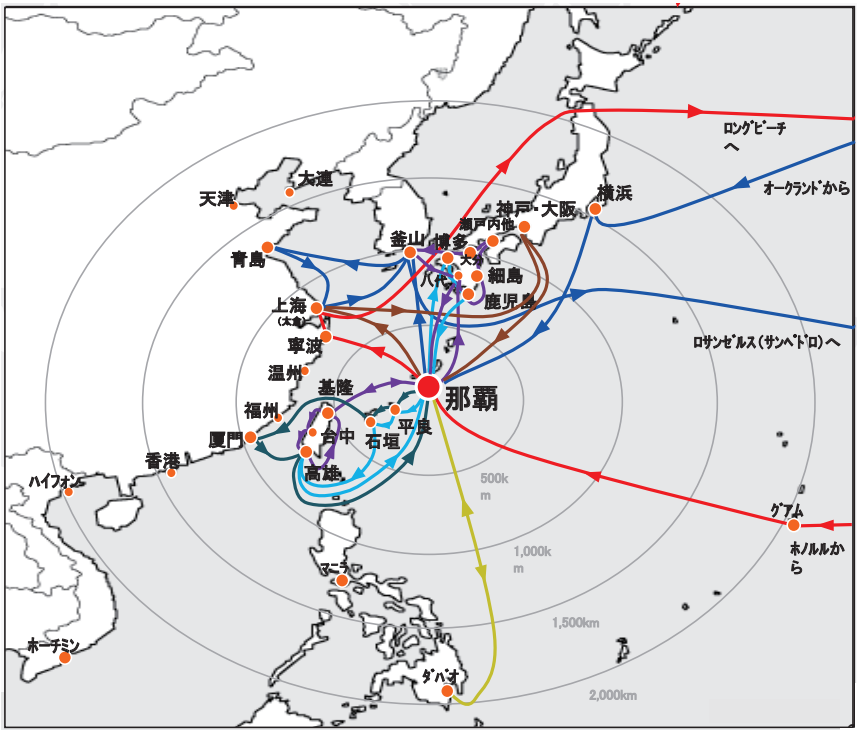


5 定期・不定期航路図

那覇港は、外貿定期航路として台湾、北米、中国、韓国、フィリピンを結ぶコンテナ航路が就航（７航路）しています。県外定期・不定期航路は、東京、大阪、神戸、名古屋、博多、北九州、鹿児島等を結ぶRORO船、一般貨物船等が就航（１９航路）しています。

外貿定期航路

2024年１月時点

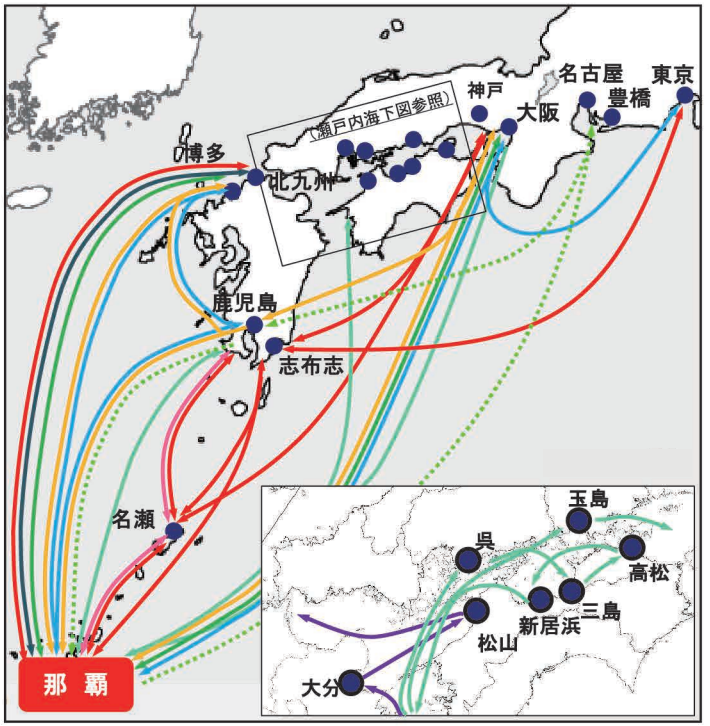


CMA CGM（APL）	MATSON
南西海運	SJJ
FRESH CARRIERS	琉球海運
愛媛オーシャン・ライン	

※詳細は別頁「13 定期船・不定期船航路別表」を参照

県外定期・不定期航路

2023年３月時点



琉球海運 ※近海郵船共同運航含む	鹿児島荷役海陸運輸 ※大阪旭海運との共同運航含む
マルエーフェリー	丸三海運
マリックスライン	南西海運
南日本汽船	フジトランスコーポレーション

6 国際物流プロジェクト

《那覇港輸送効率化支援事業》

(事業目的)

那覇港輸送効率化支援事業は、那覇港を利用する国際コンテナ貨物の効率的な輸送パターンへのシフトを支援することにより、那覇港における国際コンテナ貨物の増大と那覇港を利用する輸送の効率化を促進することを目的としております。

(対象事業者)

国際コンテナ貨物を輸送する荷主または物流企業

(支援内容)

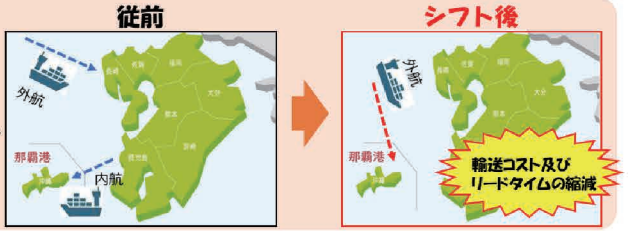
- シフト後における輸送費（海上輸送費・陸上運搬費・保管費等）の 50%を補助（上限 100 万円）

(対象要件)

① 那覇港を利用して輸出入を行うコンテナであること
② 那覇港を利用した新たな輸送ルートであり、輸送パターンA～Dに該当すること　(右図参照)
③ 本事業目的に合致し、那覇港を継続的に利用する見込みであることなど

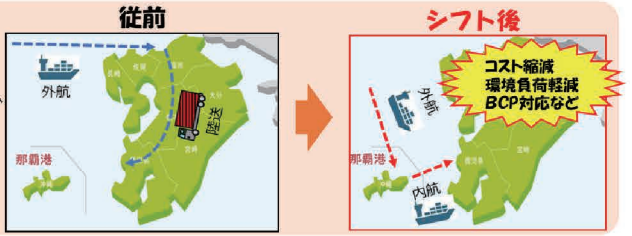
Aパターン

海外から本土港湾経由で那覇港に移入されている貨物を、直接那覇港への**輸入**にシフト



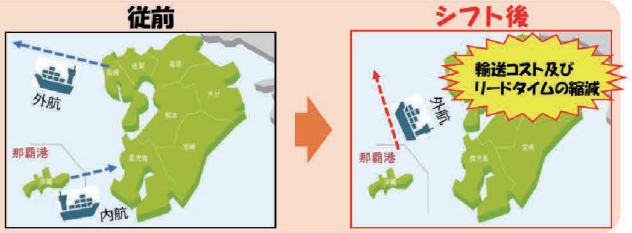
Bパターン

海外から本土の主要港を経由し、長距離で地方の港湾周辺に陸送されている貨物を、那覇港で**輸入**し、本土の地方港湾への移出にシフト



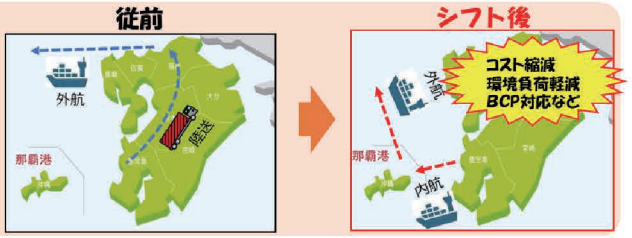
Cパターン

那覇港から本土港湾経由で海外へ輸出されている貨物を、直接那覇港からの**輸出**にシフト



Dパターン

本土の地方の港湾から長距離で陸送し、本土主要港を経由して海外へ輸出されている貨物を、本土の地方の港湾から那覇港に移入し、海外への**輸出**にシフト



《那覇港公共国際コンテナターミナル運営事業》

沖縄振興計画に位置づけられた「民間主導による自立経済の構築」を支援するため、那覇港新港ふ頭地区の９号及び10号ターミナルを一体的に運営可能な能力を有する民間企業に長期貸付、事業者の創意工夫による効率的運営により、国際競争力の向上を図り、国際海上輸送コストの低減や航路誘致による産業立地、雇用拡大を実現することを目的としたプロジェクトです。

那覇港長期構想では、東アジアの中心に位置する優位性を活かし、著しい経済成長を続けるアジアの成長と活力を取り込み、東アジアの中継拠点港（サブハブ）としての展開を目指すこととしてとりまとめているところです。また、港湾施設の整備も進め、ガントリークレーン３基、リーファー電源126口の整備がされております。

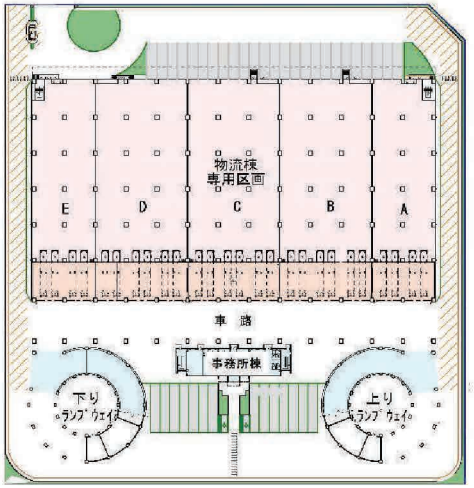
2006年１月１日、日本で初めて、完全民間企業（Naha International Container Terminal Incorporation）による運営が開始され、2016年1月1日からは、国内有数の総合物流企業である三井倉庫株式会社が中核企業として経営に参入しました。

中核企業のこれまで培ってきた豊富な経験 ・ 人材と海外ネットワークを最大限活用し、 新たな貨物獲得や貨物増加に向けた取り組みを強化しています。

【那覇港公共国際コンテナターミナルの施設概要】

那覇港公共国際コンテナターミナル	No.９ Existing	No.10 Existing	No.11（計画） Planned
供用開始	1997年8月	2006年1月	－
岸壁延長	300m	350m	350m
奥　　行	350m	350m	350m
実水深（No.11は計画水深）	14m	15m	15m以上
面　　積	210,000㎡		128,000㎡
ガントリークレーン	３基 ２号機：　40t　16列対応 ３号機：　40t　18列対応 ４号機：　40t　18列対応		－
リーファー電源	440V：126口		－
ターミナルオペレーター	那覇国際コンテナターミナル（株） Naha International Container Terminal, Inc.（NICTI）		－

《那覇港総合物流センター整備事業》



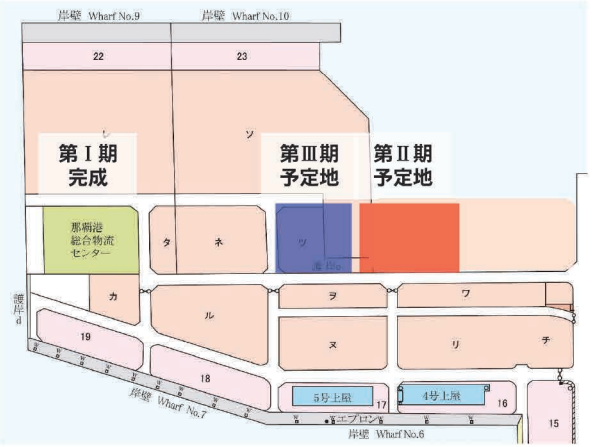
平面図

組成及び役割分担			
(株)那覇港総合物流センター	代表企業［1社］	琉球海運(株)(※運営業務実施)	
	構成企業［3社］	(株)ニチレイロジグループ 本社 那覇地域貨物運送協同組合 (株)沖縄日本管財	
協力企業［7社］	3階	沖縄港運(株)	マルエー物流(株) / 琉球物流(株) / ドライ
	2階	沖縄県黒砂糖協同組合 / (株)沖縄急送	琉球通運(株) / 常温
	1階	(株)ニチレイ・ロジスティクス九州	冷凍冷蔵

敷地面積	約26,401㎡
建築面積	約15,370㎡
のべ面積	約45,828㎡
物流棟専用区画面積	各階約10,495㎡ 合計約31,485㎡

那覇港総合物流センターは、本県の生活・産業関連貨物の大部分を占める港湾貨物を取り扱う那覇港において、集貨・創貨を促進することにより取扱貨物の増加を目指し、物流の高度化を図るとともに、流通加工等の新たな価値を生み出す付加価値型産業の集積を図る総合物流施設として2019年5月に開業しました。

現在、那覇港管理組合では、第Ⅱ期・Ⅲ期の早期整備に向けた取組みを行っているところです。



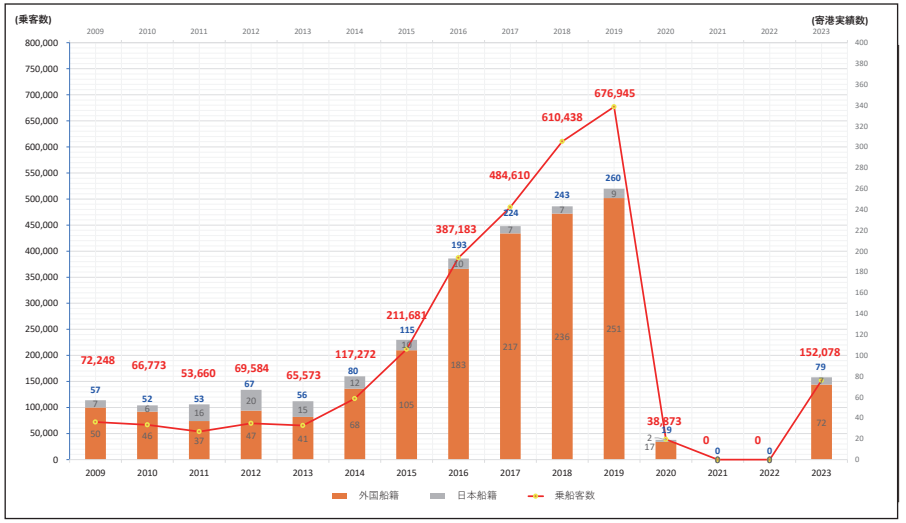
7 国際クルーズ拠点形成

《那覇港発着フライ＆クルーズの推進》

那覇港は、国内有数の国際クルーズ客船の寄港地であり、2019年は過去最高の260隻の客船が訪れ、寄港回数は全国１位を記録しました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、2020年３月以降、クルーズ船寄港のキャンセルが続いていましたが、2023年１月には約３年ぶりに那覇港への国内クルーズ船寄港が再開され、また、同年３月には那覇港における国際クルーズも再開され、2023年には計79隻のクルーズ客船が那覇港を訪れました。

那覇港では、沖縄の魅力を発進する快適な玄関口の形成を目指し、関係期間等と緊密に連携し、フライ ＆ クルーズやラグジュアリー船等の多様なクルーズ船の誘致のためのポートセールスの実施等、質の高いクルーズ観光の推進に向けた取り組みを進めております。

クルーズ船寄港実績



《第２クルーズバースの整備》

那覇港ではクルーズ客船の寄港が急増するとともに、クルーズ客船の大型化も急速に進んでおり、その対応が喫緊の課題となっています。

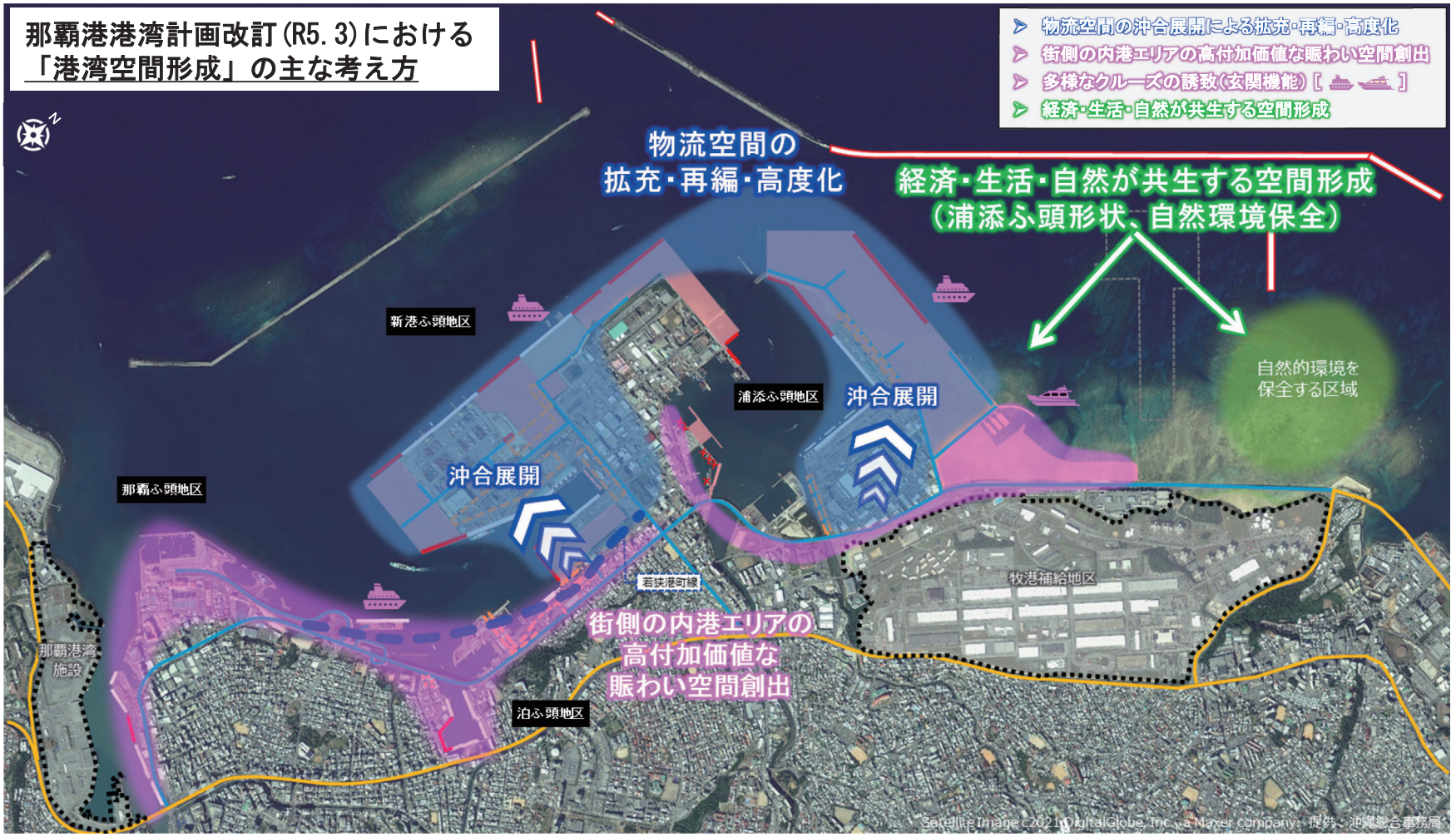
このため、那覇クルーズターミナルや既存施設での受け入れ体制の充実を図るとともに、更なるクルーズ客船の受け入れを推進するため、2016年（平成28年）に港湾計画の一部変更を行い、22万㌧級まで対応可能な第２クルーズバースを港湾計画に位置付け、2019年（令和元年）より国と連携しながら官民連携による国際クルーズ拠点の整備を進めており、岸壁等の施設を令和５年２月に暫定供用しています。

第２クルーズバース　現在の状況（令和４年８月撮影）

8 港湾計画

那覇港管理組合では、令和４年４月に策定した「那覇港長期構想」の道行きとして、10年～15年後に目指す内容を取りまとめた港湾計画を令和５年３月に改訂しました。

「舟楫をもって万国の津梁となす、世界と沖縄・日本全国の人・物・文化を繋ぐ“みなと”」を基本理念とし、那覇港の現状の課題を解消するとともに、那覇港の強み・特性を活かし、アジア・沖縄・日本を繋ぎ、沖縄県のみならず日本全国及びアジアの成長に貢献する拠点港としての発展を目指します。

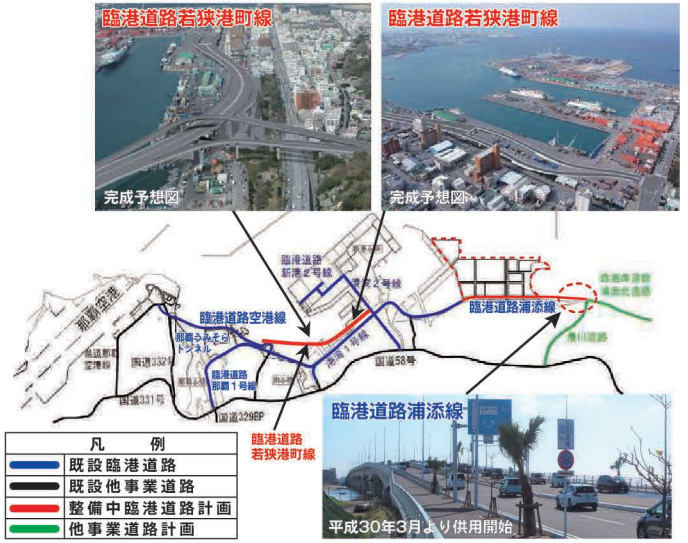


9 臨港道路交通体系

《臨港道路交通体系》

那覇港では、各ふ頭間の有機的連携や、背後圏あるいは那覇空港への港湾貨物の円滑な輸送の確保のため臨港道路の整備を進めており、物流の効率化を図るとともに国道や県道との連携により、港湾周辺の主要幹線道路の混雑緩和にも寄与することが期待されます。

臨港道路若狭港町線は、那覇港と背後の主要アクセス道である臨港道路港湾１号線及び周辺の都市内道路の渋滞を緩和し、港湾関連交通の円滑化を図ることを目的とした道路です。当臨港道路は、西海岸道路の一部（那覇北道路）として位置づけられており、「那覇北道路・臨港道路若狭港町線」として 事業を行っています。

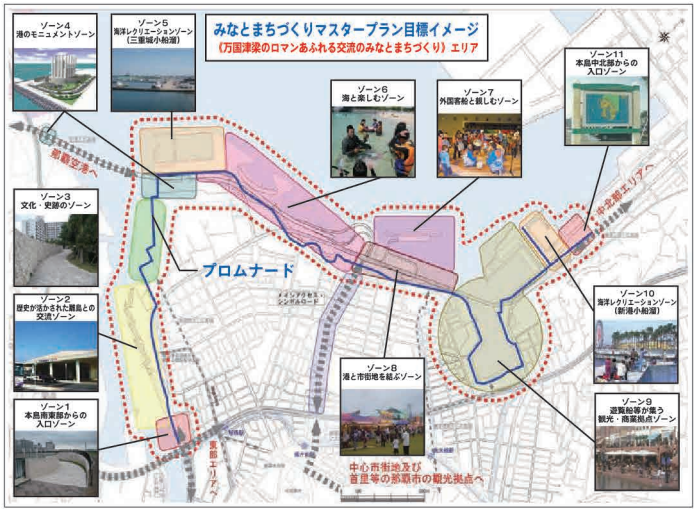


10 万国津梁のロマンあふれる交流のみなとまちづくり

《那覇港みなとまちづくりマスタープラン》

平成21年８月に、明治橋際から新港ふ頭小船溜まりに係る那覇港ウォーターフロント人流ゾーンにおける整備のあり方や活性化の方向性を示した「那覇港みなとまちづくりマスタープラン：万国津梁のロマンあふれる交流のみなとまちづくり」を策定しました。

現在は、社会情勢の変化への対応や那覇港港湾計画改訂を踏まえ、同マスタープランの見直しに取り組んでいます。



11 那覇港の保安対策

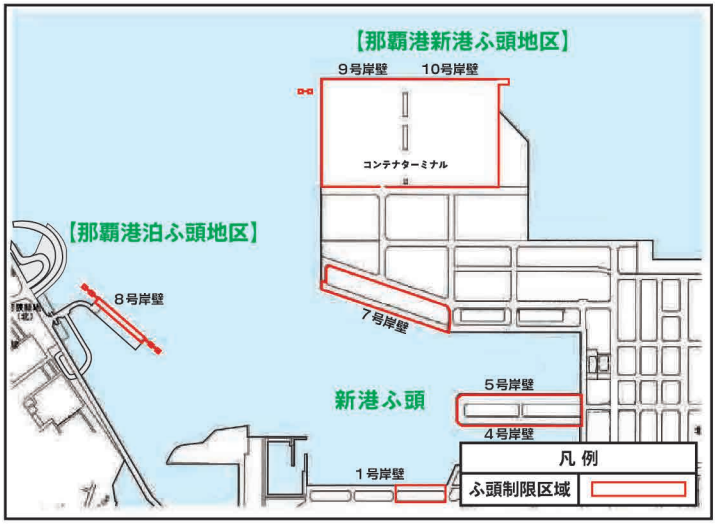
《保安対策の実施》

ＳＯＬＡＳ条約改正に伴い「国際航海船舶及び国際港湾施設の保安の確保等に関する法律」が制定され、2004年７月１日に施行されました。

同法律に基づき那覇港では新港ふ頭１号、５号、７号、９号・10号・12号岸壁及び泊ふ頭８号岸壁に制限区域を設け、保安対策を実施しています。

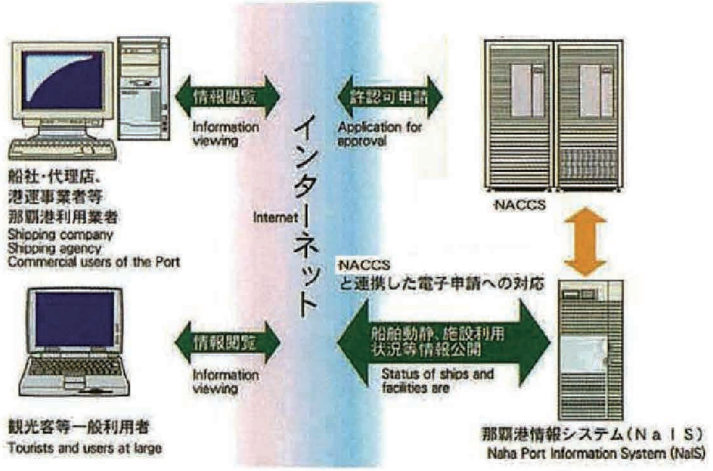
《保安対策の内容》

・立入制限区域の設定
・制限区域のフェンス設置、警備員、監視カメラ等による監視
・制限区域入場の際の目的や身分の確認
・岸壁前面の制限水域の設定



12 那覇港情報システム

・那覇ふ頭、新港ふ頭、浦添ふ頭への係留を希望する船舶は、バース会議により係留岸壁、入港時間を決定します。
・バース会議においては、係留を希望する船舶の規模や入出港に係る注意事項等を確認し、岸壁の状況等を踏まえ係留可否を判断しています。
・那覇港情報システム（2004年より稼働）では、船舶入出港状況、港湾施設使用状況等の港湾施設利用情報などが取得可能となっています。
・那覇港情報システムは、輸出入港湾関連情報処理センター株式会社（NACCSセンター）にて管理・運営しているNACCSと連携し、シングルウインドウ対応を行っており、インターネットを利用した港湾施設の許認可申請が可能となっています。

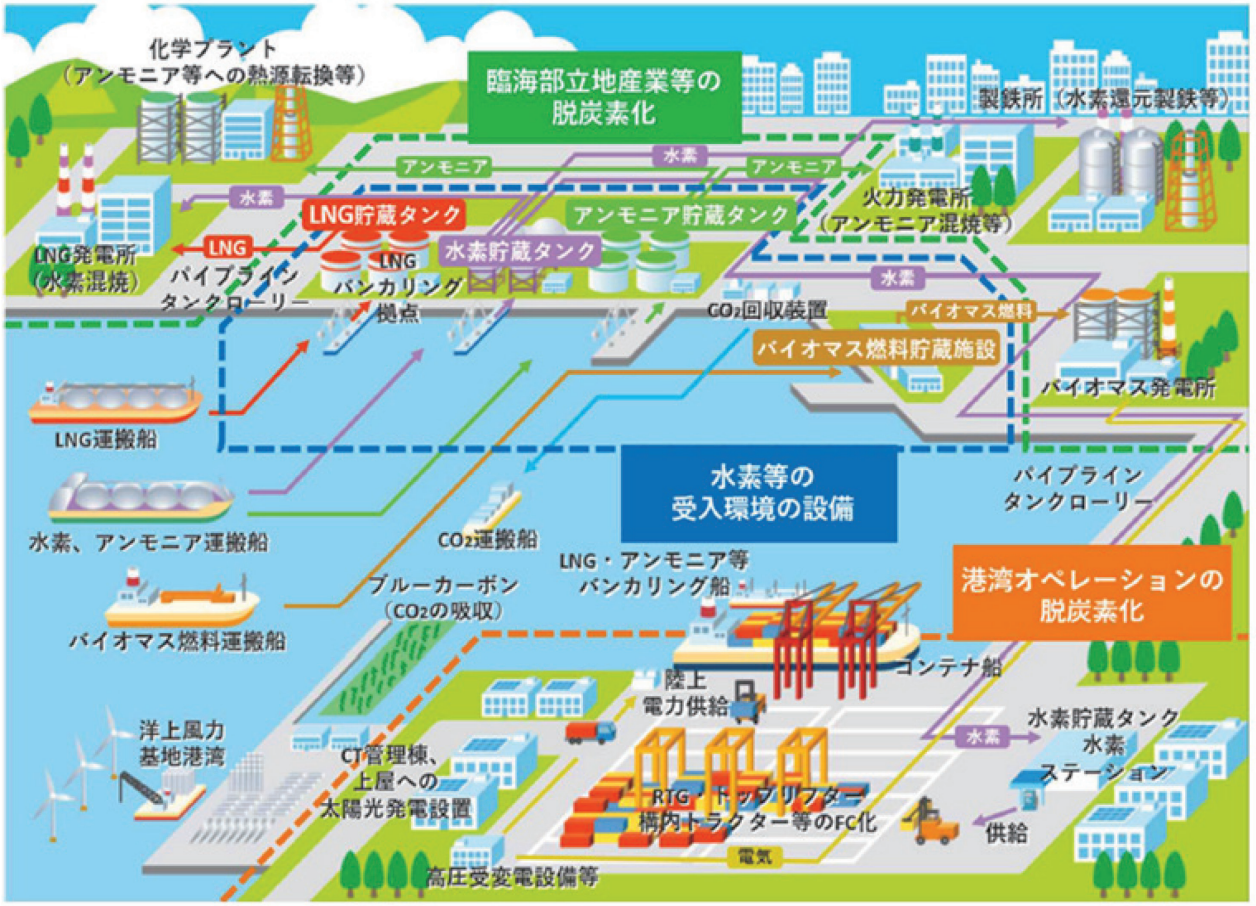


13 那覇港の脱炭素化の取組

《那覇港港湾脱炭素化推進計画》

国が2050年の温室効果ガス排出量実質ゼロを目指すことを表明したことを踏まえ、那覇港管理組合では、その実現に向けた取組として「那覇港港湾脱炭素化推進計画」の策定に取り組んでいます。

本計画では、計画策定を通じて民間同士や官民の連携を具体化し、那覇港全体での脱炭素化の推進に加え、脱炭素化への移行により、新たな産業を創出し、那覇港に立地する企業の競争力向上を目指すこととしています。



カーボンニュートラルポート(CNP)の形成イメージ

14 定期船・不定期船航路別表

那覇港を入出港する定期航路・不定期航路一覧

2023.03.28 現在

区分			寄港地 ※赤字は最終港　※( )寄港地は不定港	船名（定期・不定期） ※青字は旅客も対応		船種	総トン数	全長	運航回数	出港曜日→次回入港曜日	船主	問い合せ先	接岸岸壁
国内航路	県外	東京	那覇ー大阪ー東京ー大阪ー那覇	しゅり	定期	RORO船	15,816	180	1/週	木→翌週木	近海郵船	098-862-4130	新港7
			那覇ー中城ー大阪ー東京ー大阪ー那覇	にらいかないⅡ	定期	RORO船	11,687	182	1/週	火→翌週月	琉球海運	098-868-3203	新港5・6
			那覇ー本部ー大阪ー東京ー大阪ー那覇	しゅれいⅡ	定期	RORO船	11,687	182	1/週	土→翌週土	琉球海運	098-868-3203	新港6・7
			那覇ー志布志ー油津ー東京ー（名古屋）ー油津ー那覇	琉球エキスプレス3	定期	RORO船	10,034	169	3/2週	火→木、木→日、日→翌週火 （2隻で運行調整）	マルエーフェリー	098-861-1881	新港5・7
				琉球エキスプレス7	定期	RORO船	13,631	191	3/2週		マルエーフェリー	098-861-1881	新港5・7
		名古屋	那覇ー名古屋ー豊橋＜愛知＞ー鹿児島ー那覇	ふがく丸	不定	自動車運搬船	11,573	165	1/4日	不定	フジトランスコーポレーション	098-861-1566	新港5・6・7
		大阪	那覇ー大阪ー那覇	うりずんNEXT	定期	RORO船	7,756	145	1/週	水→日	鹿児島荷役海陸運輸	098-876-3300	浦添3
				海風	定期	一般貨物船	1,682	117	3/2週	月→木、木→土、土→翌週月 （2隻で運行調整）	丸三海運	098-942-5260	浦添7
				島風	定期	一般貨物船	1,594	117	3/2週		丸三海運	098-942-5260	浦添7
				第十五旭丸	不定	一般貨物船	749	86	1/週	月→翌週月	大阪旭海運	098-867-1314	新港3
			那覇ー大阪ー鹿児島ー那覇	うりずん21	定期	RORO船	5,848	142	1/週	月→金	鹿児島荷役海陸運輸	098-876-3300	浦添1・2
			那覇ー玉島＜岡山＞ー大阪ー那覇	りゅうなんⅢ	定期	一般貨物船	637	84	1/週	火→翌週火	南日本汽船	098-876-3300	浦添3
			那覇ー名瀬ー志布志ー大阪ー志布志ー名瀬ー那覇	琉球エキスプレス2	定期	RORO船	10,758	160	1/週	木→翌週月	マルエーフェリー	098-861-1881	新港5・7
		神戸	那覇ー志布志ー大阪ー神戸ー大阪ー志布志ー那覇	琉球エキスプレス5	定期	RORO船	10,034	169	1/週	月→金	マルエーフェリー	098-861-1881	新港5・7
		瀬戸内	那覇ー呉<広島>ー三島川之江＜愛媛＞ー高松＜香川＞ー新居浜＜愛媛＞ー那覇	りゅうなん5	定期	一般貨物船	498	76	1/週	月→翌週月	南日本汽船	098-876-3300	浦添3
		北九州	那覇ーひびき＜福岡＞ー那覇	琉球エキスプレス2	定期	RORO船	10,758	160	1/週	月→木	マルエーフェリー	098-861-1881	新港5・7
				琉球エキスプレス5	定期	RORO船	10,034	169	1/週	金→翌週月	マルエーフェリー	098-861-1881	新港5・7
				なんせい丸	定期	一般貨物船	749	98	2/週	火→土(翌週火曜日出港)	南西海運	098-868-1848	新港1・3
		博多	那覇ー博多ー那覇	ちゅらしま	定期	RORO船	9,483	169	2/週	水→金、土→翌週火	琉球海運	098-868-6623	新港6・7
				あやはし	定期	RORO船	11,681	182	1/週	月→水	琉球海運	098-868-6623	新港6・7
				うりずん	定期	一般貨物船	1,550	110	2/週	木→日、日→翌週木	鹿児島荷役海陸運輸	098-876-3300	浦添4・5
				うりずんⅡ	定期	一般貨物船	1,586	117	2/週	月→金、金→翌週月	鹿児島荷役海陸運輸	098-876-3300	浦添4・5
				りゅうなん	定期	一般貨物船	1,194	100	2/週	水→土、土→翌週水	南日本汽船	098-876-3300	浦添4・5
			那覇ー伊予三島＜愛媛＞ー博多ー那覇	海邦2	定期	一般貨物船	1,445	99	3/2週	月→木、木→土、土→翌週月 （2隻で運行調整）	丸三海運	098-942-5260	浦添8
				なは2	定期	一般貨物船	1,138	93	3/2週		丸三海運	098-942-5260	浦添8
			那覇ー鹿児島ー博多ー那覇	わかなつ	定期	RORO船	10,185	169	1/週	水→土	琉球海運	098-868-6623	新港4・6・7
			那覇ー中城ー博多ー那覇	あやはし	定期	RORO船	11,681	182	1/週	木→日	琉球海運	098-868-6623	新港6・7
		鹿児島	那覇ー鹿児島ー那覇	かりゆし	定期	RORO船	9,952	154	2/週	月→水、金→日	琉球海運	098-868-6623	新港4・6・7
				うりずんNEXT	定期	RORO船	7,756	145	1/週	日→翌週水	鹿児島荷役海陸運輸	098-876-3300	浦添3
				うりずん21	定期	RORO船	5,848	142	1/週	金→日	鹿児島荷役海陸運輸	098-876-3300	浦添3
				第八盛山丸	定期	一般貨物船	498	76	1/週	土→翌週土	南日本汽船	098-876-3300	浦添2
			那覇ー博多ー鹿児島ー那覇	みやらびⅡ	定期	RORO船	10,184	169	1/週	火→金	琉球海運	098-868-6623	新港7
			那覇ー本部ー与論ー和泊＜沖永良部＞ー亀徳＜徳之島＞ー名瀬＜奄美＞ー鹿児島ー名瀬ー亀徳ー和泊ー与論ー本部ー那覇	フェリーあけぼの	定期	フェリー	8,083	145	1/4日	4隻でサイクル運航 （どちらかの船が毎日出入港）	マルエーフェリー	098-868-7727	那覇2
				フェリー波之上	定期	フェリー	6,586	146	1/4日		マルエーフェリー	098-868-7727	那覇2
				クィーンコーラルプラス	定期	フェリー	5,910	144	1/4日		マリックスライン	098-868-9598	那覇2
				クィーンコーラルクロス	定期	フェリー	7,914	145	1/4日		マリックスライン	098-868-9598	那覇2
	県内	先島	那覇ー石垣ー那覇	陽光丸	定期	一般貨物船	499	76	1/週	金→日	崎原海運	098-861-2260	新港1
			那覇ー石垣ー与那国ー那覇	陽光丸	定期	一般貨物船	499	76	1/週	月→木	崎原海運	098-861-2260	新港1
			那覇ー平良ー那覇	第2優昭丸	定期	一般貨物船	498	75	1/週	火→木	琉球海運	098-868-6623	新港4・6
			那覇ー平良ー石垣ー那覇	わかなつ	定期	RORO船	10,185	169	1/週	月→水	琉球海運	098-868-6623	新港4・6・7
				かりゆし	定期	RORO船	9,952	154	1/週	水→金	琉球海運	098-868-6623	新港4・6・7
				第2優昭丸	定期	一般貨物船	498	75	2/週	木→日、日→翌週火	琉球海運	098-868-6623	新港4・6
				せつ丸 （※国外航路あり）	定期	一般貨物船	1,488	107	1/週	火→木	南西海運	098-868-1848	新港1
				よね丸	定期	RORO船	8,750	154	3/週	月→水、水→金、金→日(月まで係留)	南西海運	098-868-1848	新港1
				ちよ丸	定期	一般貨物船	498	75	3/週	火→木、木→土(火まで係留)	南西海運	098-868-1848	新港1・3
				はりみず	定期	一般貨物船	498	75	3/週	火→木、木→土(火まで係留)	南西海運	098-868-1848	新港1・3
			那覇ー平良ー石垣	せつ丸 （※国外航路あり）	定期	一般貨物船	1,488	107	1/週	木→翌週火	南西海運	098-868-1848	新港1
				みやらびⅡ （※国外航路あり）	定期	RORO船	10,184	169	1/週	金→翌週月	琉球海運	098-868-6623	新港7・9
		周辺離島	那覇ー阿嘉ー座間味ー阿嘉ー那覇	フェリーざまみ3	定期	フェリー	669	71	1/日	毎日	座間味村	098-868-4567	泊6
				クィーンざまみ3	定期	高速船	168	35	2/日	毎日	座間味村	098-868-4567	泊7
			那覇ー渡嘉敷ー那覇	フェリーとかしき	定期	フェリー	499	67	1/日	毎日	渡嘉敷村	098-868-7541	泊5
				マリンライナーとかしき	定期	高速船	123	31	2/日	毎日	渡嘉敷村	098-868-7541	泊7
			那覇ー粟国ー那覇	ニューフェリーあぐに	定期	フェリー	698	72	1/日	毎日	粟国村	098-862-5553	泊3
			那覇ー渡名喜ー兼城＜久米島＞ー渡名喜ー那覇	フェリー琉球	定期	フェリー	1,188	84	1/日	毎日	久米商船	098-868-2686	泊2
				フェリー海邦	定期	フェリー	1,196	84	1/日	毎日	久米商船	098-868-2686	泊2
			那覇ー北大東島・南大東島ー那覇	だいとう	定期	貨客船	690	84	6/月	不定	大東海運	098-861-0515	泊1
国外航路	北米		ロサンゼルス（サンペドロ）ーオークランドー横浜ー那覇ー釜山ー青島ー上海ー釜山ーロサンゼルス（サンペドロ）	PRESIDENT KENNEDY 他	定期	フルコン	82,794	230	1/週	土→翌週土	APL	098-861-4701	新港10
			ロングビーチーホノルルーアプラ＜グアム＞ー那覇ー寧波ー上海ーロングビーチ	MAUNAWILI 他	定期	フルコン	32,575	217	1/週	土→翌週土	MATSON	098-862-2046	新港10
	中国		上海ー大阪ー神戸ー那覇ー上海	MILD JAZZ 他	定期	フルコン	9,994	148	1/週	金→翌週金	SJJ	098-869-6618	新港9
	アジア		ダバオ＜フィリピン＞ー那覇ー（博多）ー（神戸）ーダバオ＜フィリピン＞	PACIFIC MAGNOLIA 他	定期	冷凍コンテナ	7,959	138	1/2週	金→翌々週金	FRESH CARRIERS	098-862-2046	新港9
	東南アジア（台湾）		※先島航路の延長　那覇ー平良ー石垣ー高雄ー那覇ー博多ー鹿児島ー那覇	みやらびⅡ	定期	RORO船	10,184	169	1/週	金→翌週月	琉球海運	098-868-6623	新港7・9
			※先島航路の延長　那覇ー平良ー石垣ー（厦門）ー（高雄）ー那覇ー平良ー石垣ー那覇	せつ丸	定期	一般貨物船	1,488	107	1/週	木→翌週火	南西海運	098-868-1848	新港1
			那覇ー志布志ー細島ー松山ー大分ー釜山ー八代ー那覇ー基隆ー台中ー高雄ー那覇	ITX EHIME 他	定期	フルコン	9,996	143	2/週	月→土、土→翌週月	愛媛オーシャン・ライン	098-868-3203	新港9

15 港湾関係官公署及び諸団体

官公署

名　　称	所　在　地	電話番号
内閣府沖縄総合事務局運輸部	那覇市おもろまち2丁目1番1号	(098)866－0031(代)
〃　開発建設部	那覇第2地方合同庁舎2号館	〃
〃　那覇港湾・空港整備事務所	〃　港町2丁目6－11	(098)867－3710(代)
国土交通省第十一管区海上保安本部	〃　港町2丁目11－1	(098)867－0118(代)
〃　那覇海上保安部	〃　港町4丁目6－5	(098)951－0118(代)
〃　沖縄気象台	〃　樋川1丁目15－15－5F	(098)833－4281
〃　沖縄船員地方労働委員会事務局	〃　おもろまち2丁目1－1－4F	(098)868－0570
〃　門司地方海難審判庁那覇支部	〃　港町2丁目11－1－8F	(098)868－9334
法務省福岡入国管理局那覇支局	〃　樋川1丁目15－15	(098)832－4185
財務省沖縄地区税関	〃　壺川3丁目2－6　壺川ビル3F	(098)996－5506
厚生労働省那覇検疫所	〃　港町2丁目11－1	(098)868－8037
農林水産省那覇植物防疫事務所	〃　〃	(098)868－0715
〃　動物検疫所沖縄支所	〃　〃	(098)861－4370
沖縄県土木建築部港湾課	〃　泉崎1丁目2－2	(098)866－2395
〃　環境部環境政策課	〃　〃	(098)866－2183
〃　農林水産部水産課	〃　〃	(098)866－2300
〃　農林水産部漁港漁場課	〃　〃	(098)866－2305
那覇市都市みらい部都市計画課	那覇市泉崎1丁目1－1－9F	(098)951－3246
浦添市企画部西部開発局西海岸開発課	浦添市安波茶1丁目1－1	(098)876－1234(代)
宮古島市建設部港湾課	宮古島市平良字下里108－11	(0980)72－4876
石垣市建設部港湾課	石垣市浜崎町3丁目4番地	(0980)82－4046

諸団体

名　　称	所　在　地	電話番号
(公社)沖縄海事広報協会	那覇市泊3丁目1－8－2F	(098)863－4604
(一財)沖縄観光コンベンションビューロー	〃　小禄1831－1	(098)859－6123
沖縄県教育庁実習船運営事務所	糸満市西崎1－1－1	(098)992－0139
(一社)沖縄県漁業無線協会	〃　西崎1丁目4－11	(098)840－3566
沖縄県港湾協会	那覇市泉崎1丁目2－2	(098)862－1526
(特例社)沖縄県貿易協会	〃　久米2丁目2－10	(098)866－9183
(一社)沖縄県木材協会	〃　〃	(098)868－3656
(一社)沖縄港運協会	〃　港町2丁目12－22	(098)868－5421
(一財)沖縄港湾福利厚生協会	〃　〃	(098)862－2210
(一財)沖縄船員厚生協会	〃　前島3丁目25－50	(098)868－2784
沖縄植物検疫協会	浦添市伊奈武瀬1－11－1	(098)868－5842
(一社)沖縄旅客船協会	那覇市泊3丁目1－8	(098)868－4449
(公財)海上保安協会沖縄地方本部	〃　港町2－12－22	(098)868－6616
(一社)全沖縄検数協会	〃　港町2丁目12－18	(098)861－2331
全日本港湾労働組合沖縄地方本部	〃　通堂町4－22	(098)868－3420
全日本海員組合沖縄支部	〃　若狭3丁目4－1	(098)868－1884
泊ふ頭開発株式会社	〃　前島3丁目25－1	(098)861－3341
那覇市沿岸漁業協同組合	〃　港町3丁目1－17	(098)861－2707
(一社)那覇市観光協会	〃　牧志3丁目2－10－3F	(098)862－1442
浦添市観光協会	浦添市勢理客4丁目13－1－4F	(098)874－0415
那覇市観光ホテル旅館事業協同組合	那覇市通堂町2－1	(098)861－4166
那覇地区漁業協同組合	〃　港町1丁目1－9	(098)868－5472
那覇水先区水先人会	〃　西2丁目1－1－3F	(098)868－1613
(一社)日本海事検定協会沖縄事務所	〃　港町2丁目6－18－6F	(098)862－2200
日本小型船舶検査機構沖縄支部	〃　泊3丁目1－8	(098)863－7002
(株)日本船舶職員養成協会西日本沖縄事務所	〃　〃	(098)868－3400
(公社)琉球水難救済会	〃　泊3丁目1－6	(098)868－5940
NPO法人ナハ・シー・パラダイス協議会	〃　西1丁目19－1	(098)988－4122
波の上うみそら公園管理事務所	〃　辻3丁目10番12号	(098)863－7300

船舶・荷役関係 (50音順)

名　　称	所　在　地	電話番号
粟国村船舶運航事務所	那覇市前島3丁目25－1－1F	(098)862－5553
アジア海洋沖縄(株)	〃　泊3丁目1－6	(098)868－5914
(有)ウエストマリン	〃　通堂町2－1	(098)866－0489
エキスティック・エピセンター(株)	浦添市勢理客4丁目17－11	(098)870－0680
(株)OTK	那覇市港町2丁目16-1	(098)862－0021
(株)大阪旭海運沖縄出張所	〃　曙2丁目26－1	(098)862－7483
ラインボートエキスプレス	〃　安謝260－2－2F	(098)868－3159
沖縄海陸物流(株)	〃　港町1丁目13－13	(098)860－9000
(株)沖縄急送	浦添市西洲2丁目6－4	(098)873－0910
沖縄港運(株)	那覇市西2丁目1－1－1F	(098)868－4151
(有)沖縄国際海運　那覇支店	〃　港町1丁目207 (国際CT内)	(098)869－6618
沖縄サニタリー(株)	〃　西2丁目13－15－1F	(098)868－8458
(有)沖縄シップスエージェンシー	〃　通堂町2－1－2F	(098)866－7890
沖縄砂利採取事業協同組合	宜野湾市宇宇地泊668	(098)890－2904
沖縄第一倉庫(株)	那覇市西2丁目26－18	(098)868－4808
沖縄荷役サービス(株)	〃　港町1－16－20	(098)918－0006
(株)沖縄ポートサービス	〃　港町1丁目2－2	(098)864－5888
沖縄ロジテム株式会社	〃　港町2丁目16－10	(098)860－1946
海邦港運(株)	〃　港町2丁目6－18－7F	(098)861－4153
海洋シッピング(株)	〃　港町2丁目16－1－6F	(098)864－2831
(株)ギマ石油	〃　泊3－1－8	(098)863－0036
久米商船(株)	〃　前島3丁目16－9	(098)868－2686
座間味村役場船舶課那覇事務所	〃　前島3丁目25－1－1F	(098)868－4567
(株)第一港運	沖縄県浦添市西洲2-22	(098)917－5477
大共港運(株)	那覇市西2丁目20－17	(098)868－5345
大東海運(株)	〃　前島3丁目25－5　1F	(098)861－0515
東亜運輸(株)	〃　港町3丁目7－50	(098)868－0231
渡嘉敷村役場那覇連絡事務所	〃　前島3丁目25－1－1F	(098)868－7541
トランスネット沖縄(株)	〃　通堂町2－1	(098)868－9598
ナカンヌ興業(株)	〃　通堂町5－5	(098)868－6902
(株)那覇港総合物流センター	〃　港町1丁目26番1号	(098)860－2020
那覇国際コンテナターミナル(株)	〃　港町1丁目27－1	(098)867－5931
那覇船舶給水(資)	〃　識名3丁目15－13	(098)868－8247
(株)那覇タグサービス	〃　西2丁目1－1	(098)868－4727
那覇埠頭倉庫(株)	〃　西2丁目1－27	(098)868－4316
南西海運(株)	〃　曙2－24－13	(098)868－1848
野村海事事務所	〃　前島2丁目21－13－11F	(098)861－0057
マリアナシッピング ジャパン(株)沖縄駐在事務所	那覇市港町2丁目16－1－3F	(098)868－8088
マリックスライン(株)沖縄営業所	那覇市通堂町2－1	(098)862－8774
(株)マリン観光開発	那覇市泊3－14－1	(098)869－2241
マルエーフェリー(株)	〃　通堂町2－1	(098)868－7727
マルエー物流(株)	〃　通堂町2－1	(098)861－1884
丸三海運(株)沖縄営業所	浦添市西洲2丁目24 (2号上屋)	(098)942－5260
南日本汽船(株)	浦添市西洲2丁目4－3	(098)876－3300
(有)陸通	中頭郡北谷町字宮城1番地782 LM美浜北	(098)936－0295
琉球海運(株)	那覇市西1丁目24－11－3F	(098)868－8162
琉球港運(株)	浦添市西洲2丁目15	(098)871－3011
琉球物流(株)	那覇市港町2丁目17－13	(098)861－4700
(株)琉翔	宜野湾市宇宇地泊668	(098)942－2288
湧川運輸(株)	那覇市西1丁目24－11－2F	(098)868－0896